

あいめーる

SUMMER

愛隣館通信

令和5年8月10日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアピジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



参加者(敬称略) 入居チーム：(左より)永田勝利・田中正人・池田正治
地域福祉部チーム：吉本やす代・下川龍次・田中鉄也

新型コロナウイルスも五類に位置付けられ、感染対策は継続して行いながらも、外出機会が増えてくることへの利用者の個々の思いが、今まで抑え込んでいた反動で溢れ出しているようです。その思いに、気付き、伺い、実現(笑顔)という形へと丁寧に紡いでいかなくはと今回参加し改めて思いました。

六月二十七日(火)、桜十字ホールやつしろにて開催の「利用者親善オセロゲーム大会」に参加しました。新型コロナウイルスの多大なる影響で中止を余儀なくされていたこともあり、今大会が久しぶりの交流の場で、会場全体が、穏やかな、またどこか懐かしさも感じる雰囲気がありました。今大会から大きなルール変更として、一チームの編成が五名から三名に。我が愛隣館は、二チーム(入居チームと地域福祉部チーム)で挑み、ブロック予選で入居チーム(四戦二勝)、地域福祉部チーム(四戦三勝)と奮闘しましたが、決勝リーグ(上位四チーム)に進むことは出来ませんでした。(優勝は、石路の里さんでした)チーム編成が変更になり、個の一勝がより重みを増していた今大会、終わった瞬間は、皆さん安堵の表情をされていましたが、時間と共に悔しさが込み上げてきて、「次は、必ず決勝リーグ、いや初優勝ばしてやる」と、力強く話されてきました。

六月二十七日(火)、桜十字ホールやつしろにて開催の「利用者親善オセロゲーム大会」に参加しました。新型コロナウイルスの多大なる影響で中止を余儀なくされていたこともあり、今大会が久しぶりの交流の場で、会場全体が、穏やかな、またどこか懐かしさも感じる雰囲気がありました。今大会から大きなルール変更として、一チームの編成が五名から三名に。我が愛隣館は、二チーム(入居チームと地域福祉部チーム)で挑み、ブロック予選で入居チーム(四戦二勝)、地域福祉部チーム(四戦三勝)と奮闘しましたが、決勝リーグ(上位四チーム)に進むことは出来ませんでした。(優勝は、石路の里さんでした)チーム編成が変更になり、個の一勝がより重みを増していた今大会、終わった瞬間は、皆さん安堵の表情をされていましたが、時間と共に悔しさが込み上げてきて、「次は、必ず決勝リーグ、いや初優勝ばしてやる」と、力強く話されてきました。



各施設利用者との対戦風景

利用者親善オセロゲーム大会

ケア課・チーフ 古川 慎市朗

人のつながり



館長 三浦 貴子

豪雨の後は、酷暑の続く日々ですが、皆様お変わりありませんか。

コロナ禍で止まっていた社会機能が、春から夏にかけて一斉に動き出した感じのこの頃です。

人のつながりも、再び始まりました。

山鹿市や熊本県、全国の様々な会議、障害福祉、地域福祉、防災会議、女性ネットワーク会議、権利擁護、報酬改定に関する会議など、みな、対面開催となり、三年半ぶりに沢山の方々と直接意見交換できるとなりました。

人から受ける刺激の強さ、心に残るやりとりと周りの方々の表情などを再確認しています。

振り返れば、出張が無くなった三年間、親しんだネットフリックスドラマでは、「クラウン」という大作も難なく視聴。エリザベス女王の「社会は信頼、尊敬、正義によって成長できる」という言葉を覚え、主語を「施設は」と置き換えても良いのではないかと思ったりしました。

地元の山鹿では、灯籠祭の準備が着々と進んでいます。

新任の保存会灯籠娘さんから「昨年、直前で千人灯籠踊りが中止となり残念で泣いてしまった」との話聞き、私達奉納灯籠女性団体燈心会も、心清め

て十一回目の奉納をせねばと初心に帰りました。

祭りは人のつながりが全てのように感じています。八月十六日の深夜0時が過ぎ、一緒に祭りを担う沢山の皆さんとおつかれ様を交わす時を楽しみにしています。



eスポーツの導入

ケア課(アクティビティ担当)

清水 誠一郎

愛隣館では、ハッピーブレイン様よりeスポーツ導入にあたり、システム及びポタンスイッチ2セットを購入しました。専用のコントローラーを使用して多数の方がゲームに参加できるのが良い所です。導入した事で雨天の日でも活動ができます。



また、ゲームで対戦という目標を持ち楽しく活動に取り組めるようになりました。児童通所支援事業所スーパームーンの子とも達にも大人気です。

eスポーツは、インターネットを使用する事で他の施設の方々とのモニター越しでの対戦が可能です。そのため、多くの人との交流もでき楽しみも増えます。何より参加された利用者の方々の真剣に取り組まれる姿、そして沢山の笑顔が溢れeスポーツを導入して本当に良かったと思えました。

今後、皆さんが楽しく生活して頂けるような活動を取り入れていきたいと思えます。

新しい仲間



入居者

松本 邦也

こんにちは。五月に入居しました松本邦也と申します。入居する前は約二十四年間、自宅から愛隣倶楽部へ通っていました。歌うことや音楽が趣味で、水曜日の音楽クラブを楽しみにしています。

好きなアイドルは山口百恵ちゃんです。足腰を鍛えるために毎日エアロバイクを漕いでいるので見かけたら是非声を掛けてくださると嬉しいです。

自宅での生活を送っていたので、まだ慣れませんが皆さんと活動しながら楽しく元気に過ごしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

(代筆:坂本瀬里奈)



愛隣倶楽部利用

井上 博治

こんにちは、昨年八月から愛隣倶楽部に通っています。

以前は、二十九年間会社勤めをしていました。倶楽部には高校の同級生もいて、楽しく過ごしています。施設の利用は日が浅く、まだまだ未熟ですけれども頑張っていますので宜しくお願いします。

趣味は、将棋です。最近ではデイケアにも対戦をしに行っています。将棋が好きな方は倶楽部まで是非来て下さい。待っています。



ケア課

古閑 健二

新人職員紹介

五月一日から、生活サービス部支援員として働いています。

今まで有料老人ホーム、病院での経験はありますが、障害者支援施設で働くのは初めてです。

分からない事ばかりで不安もありましたが、周りの方々に助けていただきながら少しずつですけど仕事に慣れてきました。至らない事も多くご迷惑をお掛けする事があると思いますが、入居者さんのお役に立てるように勤めますので、これから宜しく

お願い致します。

労働安全衛生委員会



九州看護福祉大学

実習生 福田 真鈴

～実習日誌より～

愛隣館で毎月行われている労働安全衛生委員会に参加させて頂いた。本日の議題は「外国人スタッフの支援、SDGs」についてであった。

愛隣館では、タイ、インドネシア、中国の三ヶ国、計五名の海外出身の方が働かれている。外国人労働者の方々が働きやすい環境にするためには、文化の違いを受け入れたり、話せないからといってコミュニケーションをとることをあきらめない、分かりやすく丁寧な言葉でゆつくりと声掛けを行う、いつでも声を掛けてもらえるような雰囲気づくりをするなどの共通意識を全職員が持つことが大切である。人手不足からコンビニやスーパーなどの身近な場所でも外国人労働者の方が働かれている。言語や宗教、時間感覚などの文化の違いを優しく受け止め、少しでも外国人労働者の方が働きやすい環境づくりを行うことが様々な場所で求められてきている。

相手の国の文化や価値観を尊重したコミュニケーションの重要性について学ぶことができた。

～実習担当(富田正美)より～

外国人スタッフ五名は、日本での生活の方が長い

人、来日一年未満の人など様々です。

よりの良い職場環境づくりをめざし、当委員会が取り組んでいる活動を適確に捉えてある良い記録だと感じました。これからもがんばって下さい。

ヒューマンライツ委員会

ヒューマンライツ委員会では、定例の集まりにおいて、勉強会、演習を実施しています。国連障害者権利委員会の総括所見の内容を振り返ったり、意思決定支援の在り方について改めて学ぶなど、今後の福祉サービスの在り方について、より権利擁護に寄り添えるような学びを深めていきたいです。

親子粘土教室

アール・ブリュットパートナーズ熊本事務局 納富 久

梅雨入り目前となった五月二十日(土)のギャラリーウォールには、粘土体験を楽しむ親子の笑顔が咲きました。

五月十六日から開催中に陶芸展に合わせて企画されたこのイベントには、地域の児童・家族と障害児通所支援事業所の利用児・家族が参加し、総勢三十三名が粘土体験で盛り上がりました。参加した児童からは「粘土作りをしてとても楽しかった。またやりたいです」「マグカップを作ったので、完成したら毎日使いたいです」という声。保護者からは親子で共有できるような体験だった。子ども同士、親

同士が繋がれるきっかけにもなった」

この日は粘土の成形のみで、この後は焼成、釉薬等の工程を経て、参加者の手元に完成品が渡ります。昨年に続いて今年も盛況でしたので、ギャラリ―ウォールを地域交流の場として、来年も交流イベントを企画したいと思います。



第二十二回くまもと障がい者スポーツ大会

愛隣倶楽部 河村 智美

五月十四日(日)、植木中央公園運動施設体育館にてポッチャ競技が開催され、愛隣館、愛隣倶楽部より二名の方が参加されました。

五月二十一日(日)、えがお健康スタジアムにて陸上競技が開催され、愛隣館、地域福祉部より十三名の方がトラック競技、投てき競技に参加されました。両日共に晴天に恵まれ、選手の方々は暑い中生懸命日頃の練習の成果を発揮され良い結果を残されていました。ポッチャ競技では、愛隣倶楽部利用の山下四季子さんが三位に入賞されました。皆さん体を動かして汗を流し、いきいきされている

姿がとても印象的でした。参加された方々お疲れ様でした。



七夏の夕べ

七月に入ると、愛隣館・各号館や地域福祉部には、七夕飾りがお目見え。七月七日(金)七夕の夕べが開催されました。

各号館の七夕飾りに、「美味しい物を食べに行きたい」「家族とお出掛けしたい」等、思いおもいの短冊が飾られていました。昨年にならば、外出等の願い事が多くありました。

七夕の昼食は、待ちにまったバーベキューで、皆さん大好きな焼き肉をほおばっていました。



日常風景の1コマ

利用者の皆さんの日常の様子を掲載しています。

吉玉哲朗さん
皆と一緒に、食堂で観る時代劇が楽しくて大好きです。



元村文美子さん
テレビで懐メロ番組がある時は、一緒に歌って楽しんでいます。



お知らせ

◆ 法人愛隣園ふれあい祭りを開催します。
期日：令和五年九月二十三日(土)
午後五時半より

場所：特別養護老人ホーム・愛隣の家広場
ご家族の皆様のご参加をお待ちしております。

◆ 月見の宴を開催します。
期日：令和五年九月二十九日(金)

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。